

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載

【部門区分】第 3 部門第 2 区分

【発行日】令和 2 年 3 月 12 日 (2020.3.12)

【公表番号】特表 2019-507745 (P2019-507745A)

【公表日】平成 31 年 3 月 22 日 (2019.3.22)

【年通号数】公開・登録公報 2019-011

【出願番号】特願 2018-541607 (P2018-541607)

【国際特許分類】

C 0 7 D 401/04 (2006.01)

C 0 7 D 401/14 (2006.01)

A 0 1 P 7/04 (2006.01)

A 0 1 P 7/02 (2006.01)

A 0 1 N 43/50 (2006.01)

A 0 1 N 43/56 (2006.01)

A 0 1 N 43/84 (2006.01)

A 0 1 N 43/653 (2006.01)

A 0 1 M 1/20 (2006.01)

【 F I 】

C 0 7 D 401/04

C 0 7 D 401/14 C S P

A 0 1 P 7/04

A 0 1 P 7/02

A 0 1 N 43/50 N

A 0 1 N 43/56 D

A 0 1 N 43/84 1 0 1

A 0 1 N 43/653 N

A 0 1 M 1/20 A

【誤訳訂正書】

【提出日】令和 2 年 2 月 3 日 (2020.2.3)

【誤訳訂正 1】

【訂正対象書類名】明細書

【訂正対象項目名】0 0 0 7

【訂正方法】変更

【訂正の内容】

【 0 0 0 7 】

〔式中（実施形態（0））〕、

Q は、酸素又は硫黄を表し；

V は、水素、ハロゲン、アルキル、ハロアルキル、アルコキシ、ハロアルコキシ及びシアノからなる群から選択されるラジカルを表し；

W は、水素、ハロゲン、アルキル、ハロアルキル、アルコキシ、ハロアルコキシ及びシアノからなる群から選択されるラジカルを表し；

Y は、水素、シアノ、置換されていてもよいアルキル、アルケニル若しくはアルキニル、置換されていてもよいシクロアルキル（ここで、該シクロアルキルは、ヘテロ原子で中断されていてもよい）、置換されていてもよいシクロアルキルアルキル（ここで、該シクロアルキルアルキルは、ヘテロ原子で中断されていてもよい）、アリールアルキル又はヘタリールアルキルからなる群から選択されるラジカルを表し；

A は、水素、置換されていてもよいアルキル、アルケニル若しくはアルキニル及び置換されていてもよいシクロアルキル若しくはシクロアルキルアルキル（ここで、これらは、

ヘテロ原子で中断されていてもよい) からなる群から選択されるラジカルを表し;

T は、酸素又は電子対を表し;

L^1 は、水素、置換されていてもよいアルキル、アルケニル、アルキニル若しくはシクロアルキルからなる群から選択されるラジカルを表し、並びに、ラジカル $C(O)R^2$ 、 $C(O)N(R^3)(R^4)$ 、 $C(O)OR^5$ 及び SO_2R^6 を表し;

L^2 は、水素、 $N(R^{3a})(R^{4a})$ 、置換されていてもよいアルキル、アルケニル、アルキニル若しくはアルコキシ、置換されていてもよいシクロアルキル若しくはシクロアルキルアルキル(ここで、これらは、ヘテロ原子で中断されていてもよい) 及び置換されていてもよいアリール、アリールアルキル、ヘタリール若しくはヘタリールアルキルからなる群から選択されるラジカルを表し;

又は、

L^1 と L^2 は、それらが結合している窒素原子と一緒に、3 ~ 7 個の環原子を有する置換されていてもよい飽和、部分的飽和又は芳香族のヘテロ環(ここで、該環は、さらなるヘテロ原子で中断されていてもよいが、及び/又は、1 若しくは2 の $C=O$ 基で中断されていてもよい) を表し;

R^2 は、水素、置換されていてもよいアルキル、アルケニル若しくはアルキニル、置換されていてもよいシクロアルキル、置換されていてもよいアリール若しくはヘタリール及び置換されていてもよいアリールアルキル若しくはヘタリールアルキルからなる群から選択されるラジカルを表し;

R^3 及び R^4 は、それぞれ互いに独立して、水素、置換されていてもよいアルキル、アルケニル若しくはアルキニル、置換されていてもよい飽和若しくは不飽和のシクロアルキル、シクロアルキルアルキル、アリール、ヘタリール、アリールアルキル又はヘタリールアルキルからなる群から選択されるラジカルを表し;

又は、

R^3 と R^4 は、一緒に、置換されていてもよい3 ~ 7 員の脂肪族環(ここで、該環は、窒素原子、硫黄原子又は酸素原子を含んでいてもよい) を形成し;

R^{3a} は、水素、置換されていてもよいアルキル、置換されていてもよいシクロアルキル、アリール、ヘタリール、アリールアルキル若しくはヘタリールアルキルからなる群から選択されるラジカルを表し;

R^{4a} は、水素、置換されていてもよいアルキル、置換されていてもよい $C_3 - C_6$ - シクロアルキルからなる群から選択されるラジカルを表し、並びに、ラジカル $C(O)R^2$ 、 $C(O)OR^5$ 及び SO_2R^6 を表し;

R^5 は、置換されていてもよいアルキル、アルケニル若しくはアルキニル、置換されていてもよいシクロアルキル若しくはシクロアルキルアルキルを表し;

R^6 は、置換されていてもよいアルキル、アルケニル若しくはアルキニル、置換されていてもよいシクロアルキル、シクロアルキルアルキル、アリール、アリールアルキル、ヘタリール若しくはヘタリールアルキルからなる群から選択されるラジカルを表す]

で表される化合物及びそれらの塩を提供することによって達成される。

【誤訳訂正2】

【訂正対象書類名】特許請求の範囲

【訂正対象項目名】全文

【訂正方法】変更

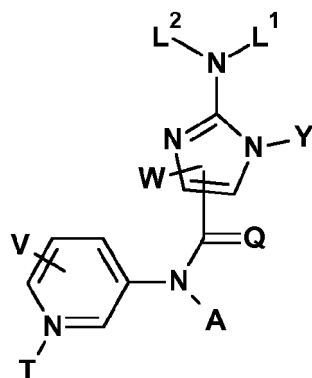
【訂正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

式(I)

【化 1】



(I)

〔式中、

Q は、酸素又は硫黄を表し；

V は、水素、ハロゲン、アルキル、ハロアルキル、アルコキシ、ハロアルコキシ及びシアノからなる群から選択されるラジカルを表し；

W は、水素、ハロゲン、アルキル、ハロアルキル、アルコキシ、ハロアルコキシ及びシアノからなる群から選択されるラジカルを表し；

Y は、水素、シアノ、置換されていてもよいアルキル、アルケニル若しくはアルキニル、置換されていてもよいシクロアルキル（ここで、該シクロアルキルは、ヘテロ原子で中断されていてもよい）、置換されていてもよいシクロアルキルアルキル（ここで、該シクロアルキルアルキルは、ヘテロ原子で中断されていてもよい）、アリールアルキル又はヘタリールアルキルからなる群から選択されるラジカルを表し；

A は、水素、置換されていてもよいアルキル、アルケニル若しくはアルキニル及び置換されていてもよいシクロアルキル若しくはシクロアルキルアルキル（ここで、これらは、ヘテロ原子で中断されていてもよい）からなる群から選択されるラジカルを表し；

T は、酸素又は電子対を表し；

L¹ は、水素、置換されていてもよいアルキル、アルケニル、アルキニル若しくはシクロアルキルからなる群から選択されるラジカルを表し、並びに、ラジカル C(O)R²、C(O)N(R³)(R⁴)、C(O)OR⁵ 及び SO₂R⁶ を表し；

L² は、水素、N(R^{3a})(R^{4a})、置換されていてもよいアルキル、アルケニル、アルキニル若しくはアルコキシ、置換されていてもよいシクロアルキル若しくはシクロアルキルアルキル（ここで、これらは、ヘテロ原子で中断されていてもよい）及び置換されていてもよいアリール、アリールアルキル、ヘタリール若しくはヘタリールアルキルからなる群から選択されるラジカルを表し；

又は、

L¹ と L² は、それらが結合している窒素原子と一緒に、3～7 個の環原子を有する置換されていてもよい飽和、部分的飽和又は芳香族のヘテロ環（ここで、該環は、さらなるヘテロ原子で中断されていてもよい）、及び / 又は、1 若しくは 2 の C=O 基で中断されていてもよい）を表し；

R² は、水素、置換されていてもよいアルキル、アルケニル若しくはアルキニル、置換されていてもよいシクロアルキル、置換されていてもよいアリール若しくはヘタリール及び置換されていてもよいアリールアルキル若しくはヘタリールアルキルからなる群から選択されるラジカルを表し；

R³ 及び R⁴ は、それぞれ互いに独立して、水素、置換されていてもよいアルキル、アルケニル若しくはアルキニル、置換されていてもよい飽和若しくは不飽和のシクロアルキル、シクロアルキルアルキル、アリール、ヘタリール、アリールアルキル又はヘタリールアルキルからなる群から選択されるラジカルを表し；

又は、

R^3 と R^4 は、一緒に、置換されていてもよい 3 ~ 7 員の脂肪族環（ここで、該環は、窒素原子、硫黄原子又は酸素原子を含んでいてもよい）を形成し；

R^{3a} は、水素、置換されていてもよいアルキル、置換されていてもよいシクロアルキル、アリール、ヘタリール、アリールアルキル若しくはヘタリールアルキルからなる群から選択されるラジカルを表し；

R^{4a} は、水素、置換されていてもよいアルキル、置換されていてもよい $C_3 - C_6$ - シクロアルキルからなる群から選択されるラジカルを表し、並びに、ラジカル $C(O)R^2$ 、 $C(O)OR^5$ 及び SO_2R^6 を表し；

R^5 は、置換されていてもよいアルキル、アルケニル若しくはアルキニル、置換されていてもよいシクロアルキル若しくはシクロアルキルアルキルを表し；

R^6 は、置換されていてもよいアルキル、アルケニル若しくはアルキニル、置換されていてもよいシクロアルキル、シクロアルキルアルキル、アリール、アリールアルキル、ヘタリール若しくはヘタリールアルキルからなる群から選択されるラジカルを表す）で表される化合物及びそれらの塩。

【請求項 2】

Q は、酸素又は硫黄を表し；

V は、水素、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ - アルキル、 $C_1 - C_4$ - ハロアルキル、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ、 $C_1 - C_4$ - ハロアルコキシ及びシアノからなる群から選択されるラジカルを表し；

W は、水素、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ - アルキル、 $C_1 - C_4$ - ハロアルキル、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ、 $C_1 - C_4$ - ハロアルコキシ及びシアノからなる群から選択されるラジカルを表し；

Y は、水素、 $C_1 - C_6$ - アルキル、 $C_3 - C_6$ - アルケニル若しくは $C_3 - C_6$ - アルキニル（ここで、これらは、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ、 $C_1 - C_4$ - アルキル - $S(O)_n$ - 又はシアノで互いに独立して 1 置換 ~ 多置換されていてもよい）、 $C_3 - C_8$ - シクロアルキル（ここで、これは、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ - アルキル、 $C_1 - C_4$ - ハロアルキル、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ又はシアノで互いに独立して 1 ~ 2 置換されていてもよい）、直鎖又は分枝鎖の $C_3 - C_8$ - シクロアルキル - $C_1 - C_4$ - アルキル（ここで、これは、O、 $S(O)_n$ 、CO 又は NR^{4a} で互いに独立して 1 回又は 2 回中断されていてもよく、及び、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ - アルキル、 $C_1 - C_4$ - ハロアルキル、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ又はシアノで互いに独立して 1 ~ 4 置換されていてもよい）、アリール - $C_1 - C_4$ - アルキル若しくはヘタリール - $C_1 - C_4$ - アルキル（ここで、これらは、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ - アルキル、 $C_1 - C_4$ - ハロアルキル、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ、 $C_1 - C_4$ - アルキル - $S(O)_n$ -、 $C_1 - C_4$ - ハロアルコキシ、 $C_1 - C_4$ - ハロアルキル - $S(O)_n$ -、ニトロ又はシアノで互いに独立して 1 ~ 3 置換されていてもよい）からなる群から選択されるラジカルを表し；

A は、水素、 $C_1 - C_6$ - アルキル、 $C_3 - C_6$ - アルケニル若しくは $C_3 - C_6$ - アルキニル（ここで、これらは、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ、 $C_1 - C_4$ - アルキル - $S(O)_n$ - 又はシアノで互いに独立して 1 置換 ~ 多置換されていてもよい）及び $C_3 - C_6$ - シクロアルキル（ここで、これは、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ - アルキル、 $C_1 - C_4$ - ハロアルキル、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ又はシアノで互いに独立して 1 置換又は 2 置換されていてもよい）及び $C_1 - C_6$ - アルキル、 $C_3 - C_6$ - アルケニル若しくは $C_3 - C_6$ - アルキニル（ここで、これらは、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ、 $C_1 - C_4$ - アルキル - $S(O)_n$ - 又はシアノで互いに独立して 1 置換 ~ 多置換されていてもよい）及び直鎖又は分枝鎖の $C_3 - C_8$ - シクロアルキル - $C_1 - C_4$ - アルキル（ここで、これは、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ - アルキル、 $C_1 - C_4$ - ハロアルキル、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ又はシアノで互いに独立して 1 ~ 2 置換されていてもよい）からなる群から選択されるラジカルを表し；

T は、酸素又は電子対を表し；

L^1 は、水素、 $C_1 - C_4$ - アルキル、 $C_3 - C_6$ - アルケニル若しくは $C_3 - C_6$ -

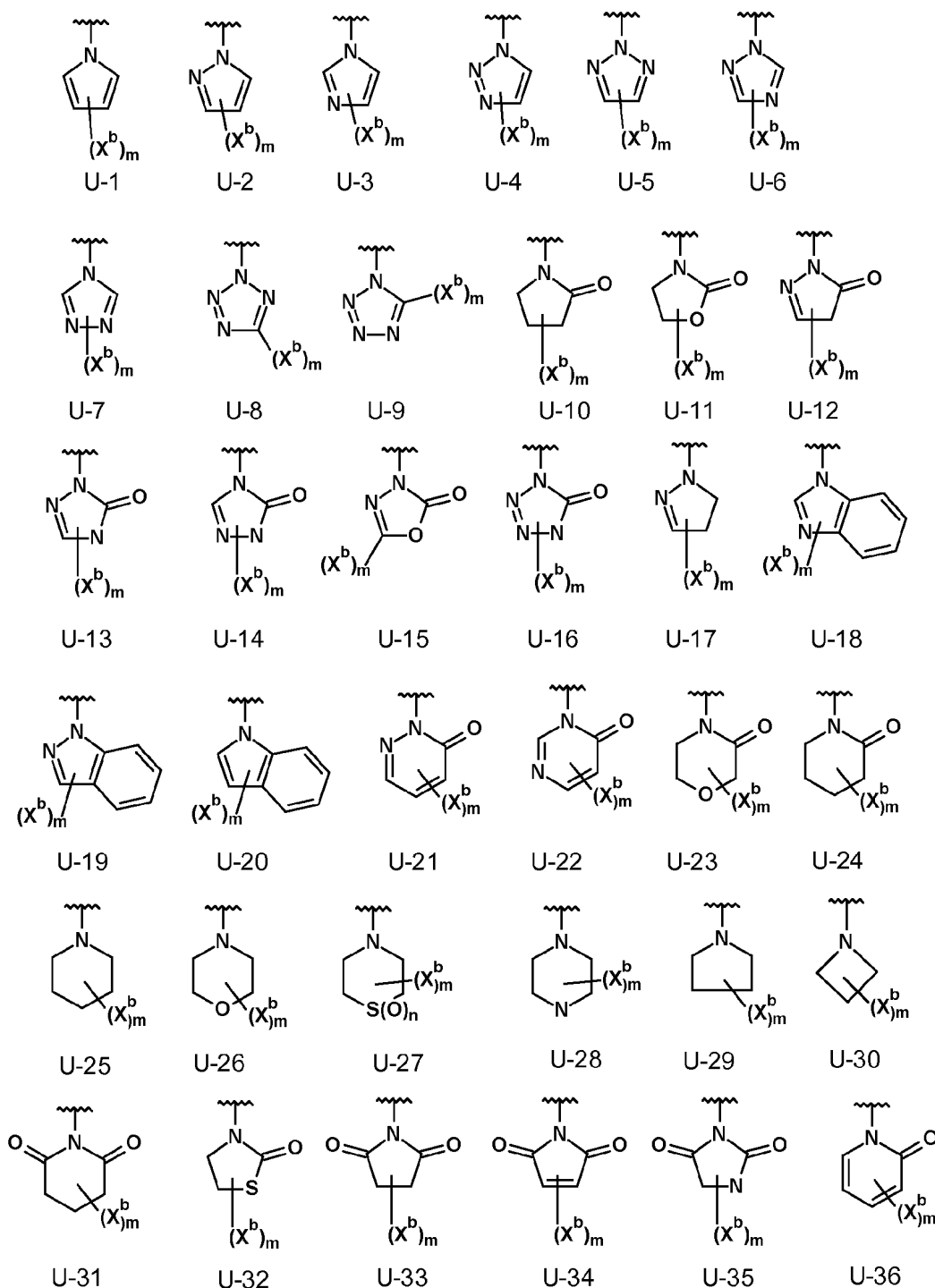
アルキニル（ここで、これらは、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ -アルコキシ、 $C_1 - C_4$ -アルキル- $S(O)_n$ -又はシアノで互いに独立して1～3置換されていてもよい）、 $C_3 - C_6$ -シクロアルキル（ここで、これは、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ -アルキル、 $C_1 - C_4$ -ハロアルキル、 $C_1 - C_4$ -アルコキシ又はシアノで互いに独立して1～2置換されていてもよい）からなる群から選択されるラジカルを表し、並びに、ラジカル $C(O)R^2$ 、 $C(O)N(R^3)(R^4)$ 、 $C(O)OR^5$ 及び SO_2R^6 を表し；

L^2 は、水素、 $-N(R^{3a})(R^{4a})$ 、 $C_1 - C_4$ -アルキル、 $C_3 - C_6$ -アルケニル、 $C_3 - C_6$ -アルキニル若しくは $C_1 - C_4$ -アルコキシ（ここで、これらは、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ -アルコキシ、 $C_1 - C_4$ -アルキル- $S(O)_n$ -又はシアノで互いに独立して1～3置換されていてもよい）、直鎖又は分枝鎖の $C_3 - C_8$ -シクロアルキル若しくは $C_3 - C_8$ -シクロアルキル- $C_1 - C_4$ -アルキル（ここで、これらは、 O 、 $S(O)_n$ 、 CO 又は NR^{4a} で互いに独立して1回又は2回中断されていてもよく、及び、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ -アルキル、 $C_1 - C_4$ -ハロアルキル、 $C_1 - C_4$ -アルコキシ又はシアノで互いに独立して1～4置換されていてもよい）、アリール、ヘタリール、アリールアルキル若しくはヘタリールアルキル（ここで、これらは、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ -アルキル、 $C_1 - C_4$ -ハロアルキル、 $C_1 - C_4$ -アルコキシ、 $C_1 - C_4$ -アルキル- $S(O)_n$ -、 $C_1 - C_4$ -ハロアルコキシ、 $C_1 - C_4$ -ハロアルキル- $S(O)_n$ -、ニトロ又はシアノで互いに独立して1～3置換されていてもよい）からなる群から選択されるラジカルを表し；

又は、

L^1 と L^2 は、 N と一緒に、群 $U-1 \sim U-36$

【化 2】



から選択されるヘテロ環を表し；

X^b は、ハロゲン、ニトロ、シアノ、アミノ、 $C_1 - C_4$ - アルキル、 $C_3 - C_6$ - シクロアルキル、 $C_1 - C_5$ - ハロアルキル、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ、 $C_1 - C_4$ - ハロアルコキシ、 $C_3 - C_6$ - ハロシクロアルキル、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ - $C_1 - C_4$ - アルキル、シアノ - $C_1 - C_4$ - アルキル、 $C_3 - C_6$ - シクロアルキル - $C_1 - C_4$ - アルキル、 $C_2 - C_6$ - アルケニル、 $C_3 - C_6$ - アルキニル、 $C_1 - C_4$ - アルキル - $S(O)_n$ -、 $C_1 - C_4$ - アルキルカルボニル、 $C_1 - C_6$ - ハロアルキルカルボニル、 $C_1 - C_6$ - アルコシカルボニル、 $C_1 - C_6$ - アルキルアミノカルボニル、ジ - ($C_1 - C_6$) アルキルアミノカルボニル、 $C_1 - C_6$ - アルキルカルボニルアミノ、アリール及びヘタリールからなる群から選択されるラジカルを表し、ここで、上記置換基アリール及びヘタリールは、ハロゲン、シアノ、ニトロ、 $C_1 - C_6$ - アルキル、 $C_2 - C_6$

- アルケニル、 $C_2 - C_6$ - アルキニル、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ、 $C_1 - C_4$ - ハロアルキル、 $C_1 - C_6$ - ハロアルコキシ及び $C_1 - C_4$ - アルキルチオからなる群から選択される同一であるか又は異なっている置換基で1置換又は多置換されていてもよく、並びに、ここで、U - 13、U - 14、U - 16、U - 28及びU - 35における環素原子は、ハロゲン、ニトロ、シアノ、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ、 $C_1 - C_4$ - ハロアルコキシ、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ - $C_1 - C_4$ - アルキルオキシでは置換されず；

又は、

X^b は、 $C_2 - C_5$ - 炭素鎖（ここで、該炭素鎖は、N、S及びOからなる群から選択される1個のヘテロ原子を含んでいてもよく、該炭素鎖は、環の隣接する2つの位置に結合しており、及び、該炭素鎖は、脂肪族環、芳香族環、ヘテロ芳香族環又はヘテロ環式環を形成し、その場合、mは2に等しい）を表し；

R^2 は、水素、 $C_1 - C_8$ - アルキル、 $C_3 - C_8$ - アルケニル若しくは $C_3 - C_8$ - アルキニル（ここで、これらは、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ又は $C_1 - C_4$ - アルキル - S(O)_n - で互いに独立して1置換～多置換されていてもよい）、 $C_3 - C_8$ - シクロアルキル（ここで、これは、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ - アルキル、 $C_1 - C_4$ - ハロアルキル、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ又はシアノで互いに独立して1～2置換されていてもよい）、アリール若しくはヘタリール（ここで、これらは、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ - アルキル、 $C_1 - C_4$ - ハロアルキル、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ、 $C_1 - C_4$ - アルキル - S(O)_n - 、 $C_1 - C_4$ - ハロアルコキシ、 $C_1 - C_4$ - ハロアルキル - S(O)_n - 、ニトロ又はシアノで互いに独立して1～3置換されていてもよい）及び直鎖又は分枝鎖のアリール - $C_1 - C_4$ - アルキル若しくはヘタリール - $C_1 - C_4$ - アルキル（ここで、これらは、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ - アルキル、 $C_1 - C_4$ - ハロアルキル、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ、 $C_1 - C_4$ - アルキル - S(O)_n - 、 $C_1 - C_4$ - ハロアルコキシ、 $C_1 - C_4$ - ハロアルキル - S(O)_n - 、ニトロ又はシアノで互いに独立して1～3置換されていてもよい）からなる群から選択されるラジカルを表し；

R^3 、 R^4 は、互いに独立して、水素、 $C_1 - C_8$ - アルキル、 $C_3 - C_8$ - アルケニル若しくは $C_3 - C_8$ - アルキニル（ここで、これらは、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ又は $C_1 - C_4$ - アルキル - S(O)_n - で互いに独立して1置換～多置換されていてもよい）、 $C_3 - C_8$ - シクロアルキル（ここで、これは、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ - アルキル、 $C_1 - C_4$ - ハロアルキル、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ又はシアノで互いに独立して1～2置換されていてもよい）、アリール若しくはヘタリール（ここで、これらは、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ - アルキル、 $C_1 - C_4$ - ハロアルキル、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ、 $C_1 - C_4$ - アルキル - S(O)_n - 、 $C_1 - C_4$ - ハロアルコキシ、 $C_1 - C_4$ - ハロアルキル - S(O)_n - 、ニトロ又はシアノで互いに独立して1～3置換されていてもよい）及び直鎖又は分枝鎖のアリール - $C_1 - C_4$ - アルキル若しくはヘタリール - $C_1 - C_4$ - アルキル（ここで、これらは、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ - アルキル、 $C_1 - C_4$ - ハロアルキル、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ、 $C_1 - C_4$ - アルキル - S(O)_n - 、 $C_1 - C_4$ - ハロアルコキシ、 $C_1 - C_4$ - ハロアルキル - S(O)_n - 、ニトロ又はシアノで互いに独立して1～3置換されていてもよい）からなる群から選択されるラジカルを表し；

R^{3a} は、水素、 $C_1 - C_8$ - アルキル（ここで、これは、ハロゲン、シアノ又は $C_1 - C_4$ - アルコキシで互いに独立して1置換～多置換されていてもよい）、 $C_3 - C_8$ - シクロアルキル（ここで、これは、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ - アルキル、 $C_1 - C_4$ - ハロアルキル又は $C_1 - C_4$ - アルコキシで互いに独立して1～2置換されていてもよい）、アリール若しくはヘタリール（ここで、これらは、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ - アルキル、 $C_1 - C_4$ - ハロアルキル、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ、 $C_1 - C_4$ - アルキル - S(O)_n - 、 $C_1 - C_4$ - ハロアルコキシ、 $C_1 - C_4$ - ハロアルキル - S(O)_n - 、ニトロ又はシアノで互いに独立して1～3置換されていてもよい）及び直鎖又は分枝鎖のアリール - $C_1 - C_4$ - アルキル若しくはヘタリール - $C_1 - C_4$ - アルキル（ここで、これらは、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ - アルキル、 $C_1 - C_4$ - ハロアルキル、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ、 $C_1 - C_4$ - アルキル - S(O)_n - 、 $C_1 - C_4$ - ハロアルコキシ、ニトロ又はシ

アノで互いに独立して 1 ~ 3 置換されていていてもよい) からなる群から選択されるラジカルを表し;

R^4 は、水素、 $C_1 - C_4$ - アルキル (ここで、これは、ハロゲン又は $C_1 - C_4$ - アルコキシで互いに独立して 1 置換 ~ 多置換されていていてもよい)、 $C_3 - C_6$ - シクロアルキル (ここで、これは、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ - アルキル、 $C_1 - C_4$ - ハロアルキル又は $C_1 - C_4$ - アルコキシで互いに独立して 1 ~ 2 置換されていていてもよい) からなる群から選択されるラジカルを表し、並びに、ラジカル $C(O)R^2$ 、 $C(O)OR^5$ 及び SO_2R^6 を表し;

R^5 は、 $C_1 - C_8$ - アルキル、 $C_3 - C_8$ - アルケニル若しくは $C_3 - C_8$ - アルキニル (ここで、これらは、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ又は $C_1 - C_4$ - アルキル - $S(O)_n$ - で互いに独立して 1 置換 ~ 多置換されていていてもよい)、 $C_3 - C_8$ - シクロアルキル (ここで、これは、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ - アルキル、 $C_1 - C_4$ - ハロアルキル、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ又はシアノで互いに独立して 1 ~ 2 置換されていていてもよい) を表し;

R^6 は、 $C_1 - C_8$ - アルキル、 $C_3 - C_8$ - アルケニル若しくは $C_3 - C_8$ - アルキニル (ここで、これらは、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ又は $C_1 - C_4$ - アルキル - $S(O)_n$ - で互いに独立して 1 置換 ~ 多置換されていていてもよい)、 $C_3 - C_8$ - シクロアルキル (ここで、これは、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ - アルキル、 $C_1 - C_4$ - ハロアルキル、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ又はシアノで互いに独立して 1 ~ 2 置換されていていてもよい)、アリール若しくはヘタリール (ここで、これらは、ハロゲン、 $C_1 - C_4$ - アルキル、 $C_1 - C_4$ - ハロアルキル、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ、 $C_1 - C_4$ - アルキル - $S(O)_n$ -、 $C_1 - C_4$ - ハロアルコキシ、 $C_1 - C_4$ - ハロアルキル - $S(O)_n$ -、ニトロ又はシアノで互いに独立して 1 ~ 3 置換されていていてもよい) からなる群から選択されるラジカルを表し;

m は、数 0、1、2 又は 3 を表し;

n は、数 0、1 又は 2 を表す;

請求項 1 に記載の化合物及びそれらの塩。

【請求項 3】

Q は、酸素を表し;

V は、水素、フッ素、塩素、臭素、メチル及びエチルからなる群から選択されるラジカルを表し;

W は、水素、フッ素、塩素、臭素、シアノ及びメチルからなる群から選択されるラジカルを表し;

Y は、水素、 $C_1 - C_4$ - アルキル、 $C_3 - C_4$ - アルケニル若しくは $C_3 - C_4$ - アルキニル (ここで、これらは、フッ素、塩素、臭素、メトキシ又はエトキシで互いに独立して 1 ~ 5 置換されていていてもよい) 及び $C_3 - C_6$ - シクロアルキル (ここで、これは、フッ素、塩素、臭素、メチル、エチル、トリフルオロメチル、メトキシ、エトキシ又はシアノで互いに独立して 1 ~ 2 置換されていていてもよい) からなる群から選択されるラジカルを表し;

A は、水素、 $C_1 - C_6$ - アルキル、 $C_3 - C_6$ - アルケニル若しくは $C_3 - C_6$ - アルキニル (ここで、これらは、フッ素、塩素、臭素、メトキシ、エトキシ又はシアノで互いに独立して 1 ~ 5 置換されていていてもよい) 及び $C_3 - C_6$ - シクロアルキル (ここで、これは、フッ素、塩素、臭素、メチル、エチル、トリフルオロメチル、メトキシ、エトキシ又はシアノで互いに独立して 1 ~ 2 置換されていていてもよい) からなる群から選択されるラジカルを表し;

T は、電子対を表し;

L^1 と L^2 は、N と一緒に、群 U - 1、U - 2、U - 3、U - 4、U - 5、U - 6、U - 7、U - 25、U - 26、U - 27、U - 28、U - 29 及び U - 30 から選択されるヘテロ環を表し;

X^b は、ハロゲン、ニトロ、シアノ、アミノ、 $C_1 - C_4$ - アルキル、 $C_3 - C_6$ - シ

クロアルキル、 $C_1 - C_2$ - ハロアルキル、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ、 $C_1 - C_4$ - ハロアルコキシ、 $C_3 - C_6$ - ハロシクロアルキル、 $C_1 - C_4$ - アルコキシ - $C_1 - C_4$ - アルキル、 $C_1 - C_6$ - アルキルチオ、 $C_1 - C_4$ - アルコキシカルボニル、 $C_1 - C_4$ - アルキルアミノカルボニル、 $C_1 - C_6$ - アルキルスルホニル、 $C_1 - C_6$ - アルキルカルボニルアミノ及びフェニルからなる群から選択されるラジカルを表し、ここで、フェニルは、フッ素、塩素、臭素、メチル、エチル、ジフルオロメチル、トリフルオロメチル、メトキシ、エトキシ、 $Me - S(O)_n -$ 、 $Et - S(O)_n -$ 、ジフルオロメトキシ、トリフルオロメトキシ、トリフルオロメチル - $S(O)_n -$ 、ジフルオロエチル - $S(O)_n -$ 、トリフルオロエチル - $S(O)_n -$ 、ニトロ又はシアノで1～3置換されていてもよく；

又は、

X^b は、 $C_3 - C_5$ - 炭素鎖（ここで、該炭素鎖は、環の隣接する2つの位置に結合しており、及び、該炭素鎖は、脂肪族環を形成し、その場合、 m は2に等しい）を表し；

m は、数0、1又は2を表し；

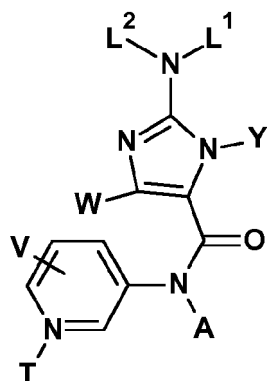
n は、数0、1又は2を表す；

請求項2に記載の化合物及びそれらの塩。

【請求項4】

式(I-1)

【化3】



(I-1),

〔式中、

V は、水素、フッ素、塩素、メチル及びシアノからなる群から選択されるラジカルを表し；

W は、水素、フッ素、塩素、臭素及びメチルからなる群から選択されるラジカルを表し；

Y は、メチル、エチル、プロピル、アリル又はプロパルギル（ここで、これらは、フッ素、メトキシ、エトキシ又はシアノで互いに独立して1～3置換されていてもよい）からなる群から選択されるラジカルを表し；

A は、水素；メチル、エチル、プロピル、アリル、プロパルギル若しくはシクロプロピル（ここで、これらは、フッ素、メトキシ、エトキシ又はシアノで互いに独立して1～3置換されていてもよい）からなる群から選択されるラジカルを表し；

T は、電子対を表し；

L^1 と L^2 は、 N と一緒に、群 $U-1$ 、 $U-2$ 、 $U-3$ 、 $U-4$ 、 $U-5$ 、 $U-6$ 、 $U-7$ 、 $U-25$ 、 $U-26$ 、 $U-27$ 、 $U-29$ 及び $U-30$ から選択されるヘテロ環を表し；

X^b は、フッ素、塩素、臭素、シアノ、アミノ、メチル、エチル、 n -プロピル及びイソプロピル、シクロプロピル、トリフルオロメチル、ジフルオロメチル、トリフルオロエチル、メトキシ、エトキシ、 n -プロボキシ及びイソプロボキシ、トリフルオロメトキシ、メトキシメチル、エトキシメチル、メトキシエチル、エトキシエチル、メチル - $S(O)$

)_n -、エチル - S (O)_n -、メトキシカルボニル、エトキシカルボニル、メチルアミノカルボニル、メチルカルボニルアミノ又はフェニルからなる群から選択されるラジカルを表し、ここで、フェニルは、フッ素、塩素、臭素、メチル、エチル、ジフルオロメチル、トリフルオロメチル、メトキシ、エトキシ、ニトロ又はシアノで 1 ~ 3 置換されていてもよく；

又は、

X^b は、C₃ - C₄ - 炭素鎖（ここで、該炭素鎖は、環の隣接する 2 つの位置に結合しており、及び、該炭素鎖は、脂肪族環を形成し、その場合、m は 2 に等しい）を表し；

m は、数 0、1 又は 2 を表し；

n は、数 0、1 又は 2 を表す；

で表される請求項 2 に記載の化合物及びそれらの塩。

【請求項 5】

V は、水素を表し；

W は、水素を表し；

Y は、水素、メチル、エチル、アリル及びプロパルギルからなる群から選択されるラジカルを表し；

A は、水素、メチル、エチル及びシクロプロピルからなる群から選択されるラジカルを表し；

T は、電子対を表し；

L¹ と L² は、N と一緒に、群 U - 1、U - 2、U - 3、U - 6、U - 25、U - 26 及び U - 29 から選択されるヘテロ環を表し；

X^b は、フッ素、塩素、臭素、シアノ、アミノ、メチル、エチル、n - プロピル及びイソプロピル、トリフルオロメチル、メトキシ、エトキシ、メチルチオ及びフェニルからなる群から選択されるラジカルを表し、ここで、フェニルは、フッ素、塩素、メチル又はメトキシで 1 ~ 3 置換されていてもよく；

又は、

X^b は、C₃ - C₄ - 炭素鎖（ここで、該炭素鎖は、環の隣接する 2 つの位置に結合しており、及び、該炭素鎖は、脂肪族環を形成し、その場合、m は 2 に等しい）を表し；

m は、数 0、1 又は 2 を表す；

請求項 4 に記載の化合物及びそれらの塩。

【請求項 6】

V は、水素を表し；

W は、水素を表し；

Y は、メチルを表し；

A は、メチル、エチル又はシクロプロピルを表し；

T は、電子対を表し；

L¹ と L² は、N と一緒に、U - 1、U - 2、U - 3、U - 6、U - 25、U - 26 及び U - 29 からなる群から選択されるヘテロ環を表し；

X^b は、塩素、シアノ、アミノ、メチル、イソプロピル、トリフルオロメチル、メチルチオ及びフェニルからなる群から選択されるラジカルを表し；

又は、

X^b は、- (CH₂)₃ - （ここで、これは、環の隣接する 2 つの位置に結合しており、及び、これは、脂肪族環を形成し、その場合、m は 2 に等しい）を表し；

m は、数 0、1 又は 2 を表す；

請求項 4 に記載の化合物及びそれらの塩。

【請求項 7】

組成物であって、請求項 1 ~ 6 のいずれかに記載の少なくとも 1 種類の化合物並びに慣習的な増量剤及び / 又は界面活性剤を含んでいる、特に害虫を防除するための、前記組成物。

【請求項 8】

害虫を防除する方法であって、請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の少なくとも 1 種類の化合物又は請求項 7 に記載の組成物を当該害虫及び / 又はそれらの生息環境に作用させる、前記方法。

【請求項 9】

害虫を防除するための、請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の少なくとも 1 種類の化合物又は請求項 7 に記載の組成物の使用。

【請求項 10】

ヒト又は動物の身体の外科的な処置、治療的な処置及び診断的な処置は除外される、請求項 8 に記載の方法又は請求項 9 に記載の使用。

【請求項 11】

植物の繁殖器官を保護するための、請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の少なくとも 1 種類の化合物の使用。

【請求項 12】

農薬製剤であって、請求項 1 ～ 6 のいずれかに記載の少なくとも 1 種類の化合物を、その農薬製剤の重量に基づいて 0.00000001 ～ 98 重量%の生物学的に有効な量で含んでおり、並びに、増量剤及び / 又は界面活性剤も含んでいる、前記農薬製剤。

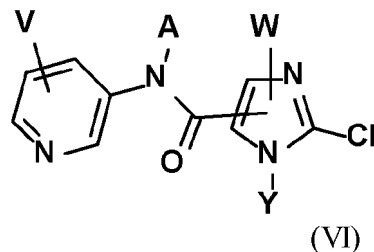
【請求項 13】

さらなる農薬活性化合物をさらに含んでいる、請求項 12 に記載の農薬製剤。

【請求項 14】

式 (VI)

【化 4】



〔式中、ラジカルは、請求項 1 ～ 6 の 1 項に記載されている意味を有しており、特に好ましくは、請求項 6 に記載されている意味を有している〕
で表される中間体。